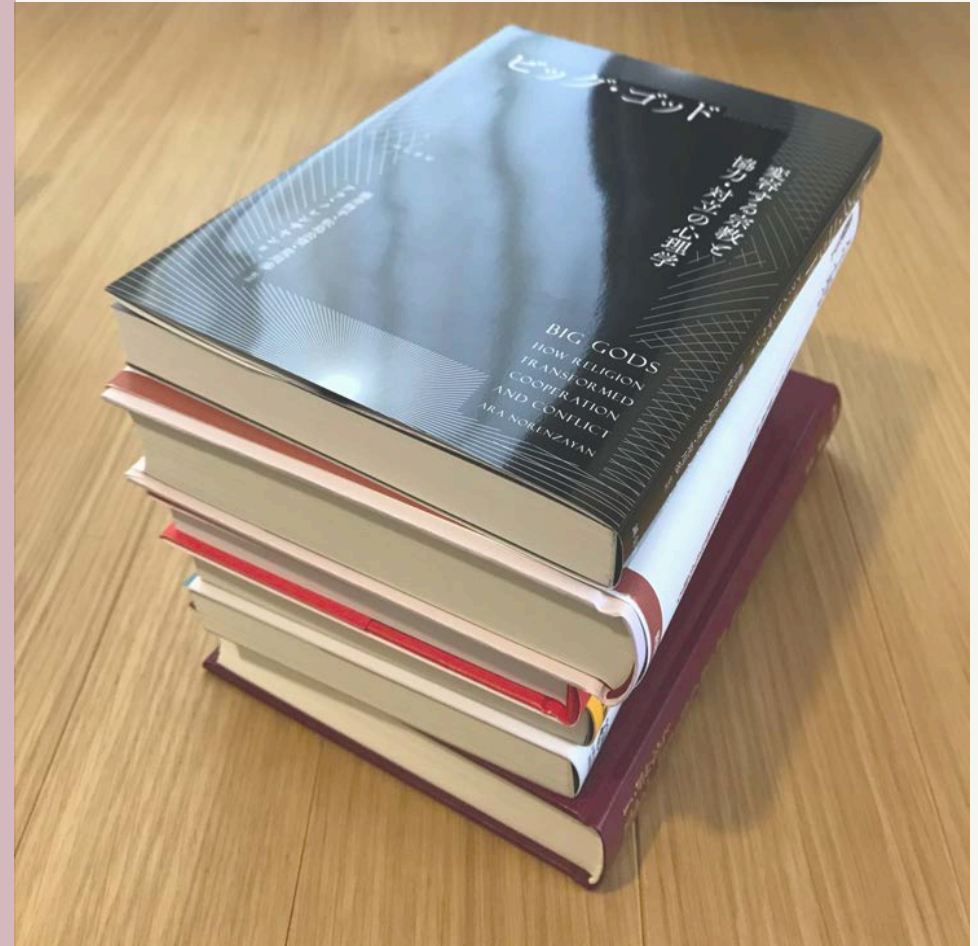


日本心理学会第 86 回大会公募シンポジウム『掘り起こされていない研究分野を開拓する方法（現在進行中）—実証的宗教心理学の挑戦—』

本を出版 することの 意義

川島大輔（中京大学）



簡単な自己紹介

- 専門は、生涯発達心理学、死生学、自殺予防学
- 「死とともに、人はどう生きるのか」をテーマ
- 最近の関心は、関係性に着目した死生観、子ども・若者への自殺予防教育、中高年のエンド・オブ・ライフ、死別後のグリーフなど



宗教心理学研究プロジェクトにおける 出版企画との関わり



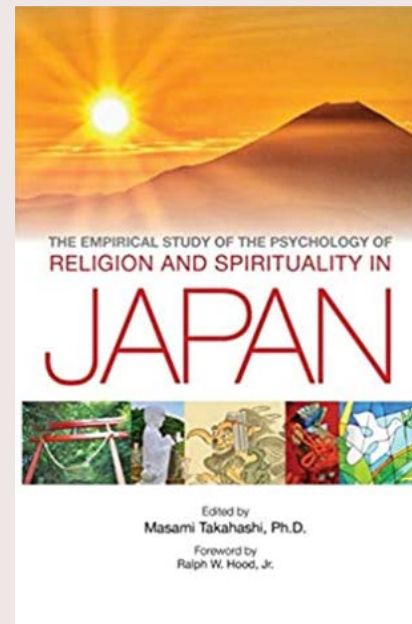
2011

コラム執筆



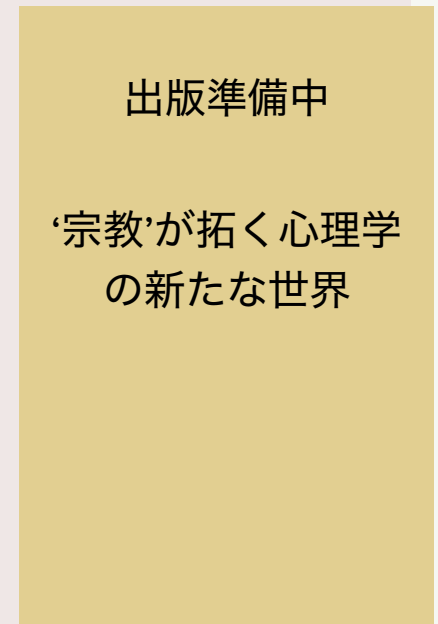
2016

編著



2020

分担執筆



2022

編著

本を出版する のはなぜか？

Big story?

知の蓄積・アカ
デミアへの貢献

教育

宛名：専門家

研究の集大成をまと
めたいから

宛名：学生

関心をもつ人（後
進）を増やしたいか
ら

なぜ？

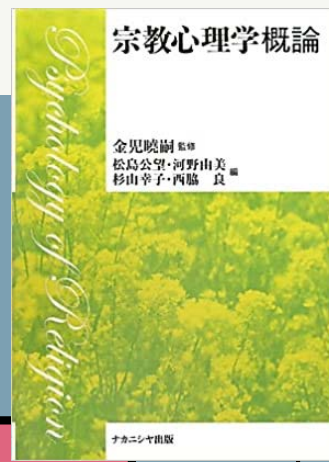
宛名：一般人

研究成果を一般の
人にも広く発信した
いから

普及啓発

知の蓄積・アカ
デミアへの貢献

教育



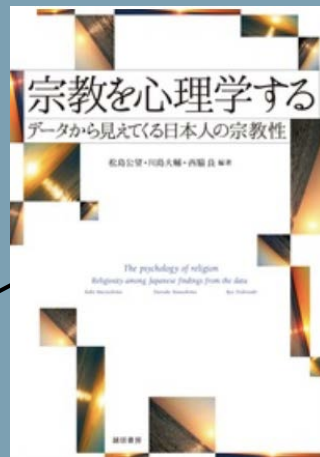
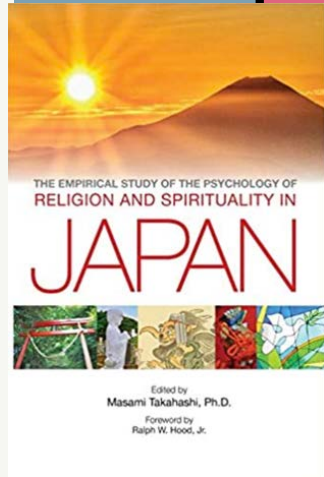
宛名：専門家

宛名：学生

研究の集大成をまと
めたいから

関心をもつ人（後
進）を増やしたいか
ら

なぜ？



宛名：一般人

研究成果を一般の
人にも広く発信した
いから

‘宗教’が拓く心
理学の新たな
世界

普及啓発

本当のところ

本を出版する のはなぜか？

Personal/ small story?

知の蓄積・アカ
デミアへの貢献

教育

宛名：専門家

研究の集大成をまと
めたいから

宛名：学生

関心をもつ人（後
進）を増やしたいか
ら

なぜ？

宛名：一般人

研究成果を一般の
人にも広く発信した
いから

普及啓発

知の蓄積・アカ
デミアへの貢献

教育

研究の潮流を作りたい

研究者としての箔をつけたい

授業で使いたい

宛名：学

研究の集大成を
めたいから

後進を育てたい

心をもつ人（後
を増やしたいか
ら

業績書に書きたい

なぜ？

何となく格好良い

研究費を獲得したい

宛名：一般人

研究成果を一般の
人にも広く発信した
いから

書店に並んでいるのを見て感
慨に耽りたい

世の中に研究（テーマ）の必
要性を訴えたい

宗教の大切さを伝えたい

普及啓発

専門家と認知されたい

書籍と論文の違いは何か？

＜参考例＞	書籍	査読雑誌論文	その他の論文
研究者へのインパクト	中（人文科学領域への効果は大？）	大	小
一般社会へのインパクト	大（一般流通しない場合は小）	中	小
必要経費	中（自費や買取が必要な場合は大）	中（掲載料・校閲料がかかる場合は大）	小
刊行までの時間	中期（執筆者・ページの数によっては長期）	中長期	短期
エフォート	高（立場によって変動）	高（立場によって変動）	中
困難さ	高（出版社探し）	高（査読）	小

*実際には、書籍も論文も多様な形態があるので、上記は一例にすぎない。

大学院生向け 書籍化のTips

- 指導教員から「心理学の研究者としてやっていくためには、査読付学術論文をたくさん執筆し、博士号を取得することがまず重要。その上で、テニユアのポジションを得るために、さらに業績を稼ぎ、できる限りインパクトファクターの高い雑誌での掲載を目指さないといけない！」と言われた。
- 「マイナー」な研究テーマを選択するとスタートラインから出遅れているとみなされるし、本の執筆も効率が悪い（そんな暇があるなら「英語論文を書け」と言われてしまう）。
- そもそも若手が自ら本を企画するのは荷が重い。ノウハウもない。
- ベテランの先生が企画した出版企画にうまく混ぜてもらおう！そのためには普段からの交流（売り込み、下働き）が大切。

若手研究者向け 書籍化のTips

- 出版社から「そのテーマで本を出すのは難しい。販売部数が見込める、もっと一般向けのわかりやすい内容か教科書だったら検討してもいい。マイナーなテーマの学術書は売れないんです。」と言われた。
- 出版業界の状況は年々厳しくなっているようで、売れない学術書はなかなか企画が通らない。「マイナー」なテーマだと、教科書にもしにくい。
- 教科書や一般向けでひとまず研究テーマの普及啓発や教育を狙う。もしくは出版助成を活用する。
- 出版社の担当者に、面白い、大事だと思ってもらう工夫が大切。
- 「マイナーな研究」仲間を作る。

書籍化はあくまで研究発信
のためのツールの一つ。
それによって何を達成したい
のかを考えることが大切。